

### 第３次総合計画基本計画（案）についての最終答申に付す意見案

- 1 総合計画の進行管理にあたっては、目標を明確にするため、有効な指標と目標値を早期に完成させ、重要課題や施策の優先順位などの検討・見直しを行いながら、効率的・効果的な計画の推進を図ることが求められます。
- 2 吹田市は全域にわたって市街化されているものの、なお開発が進み住宅建設が行われようとしています。また、千里ニュータウンなどでの既存住宅の更新も進められています。このことに関連して、市民から「緑の確保」や「自然環境の保全・育成」を求める意見が多数寄せられました。当審議会では、少子・高齢化が本格化し、人口減少期を迎えている今日、まちの活力の維持・向上を図り、「人が輝き、感動あふれる美しい都市<sup>まち</sup>すいた」を実現するために、これからのまちづくりをどう進めるのかについて慎重に審議を重ねました。今後、まちに愛着と誇りを持つ市民が「今まで住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思えるような住環境やまちなみの維持形成を図るために、市民とともにさらに取り組んでいく必要があります。
- 3 地域別計画の策定は、総合計画を市民にとって身近なものとする点で大きな意義があります。しかし、市民の日常生活圏を考えると、市域を６ブロックに分けた地域別計画では圏域が広く、より細かな区域を対象とする計画が求められます。その計画については、行政の主導ではなく、地域住民自らが主体的に取り組むことが重要です。今後、地域ごとにまちづくりを担えるような住民組織の形成や住民による日常生活圏域でのまちづくり計画の策定も展望しながら、地域別計画の推進に努めていく必要があります。
- 4 新たな将来像を設定した第３次総合計画を実効あるものとするため、より広く普及啓発し、市民参画と協働を推し進める必要があります。